



市議会だより

第178号

平成30年11月15日



鳥栖中学校3年 有馬菜友さんの作品
「とすの秋」をテーマに描かれました

平成29年度決算と
平成30年度補正予算を審議

9月定例市議会

一般質問・・・6～10

- ◆「おしゃべりカフェ*とす」・・・2
- ◆市長の給与を減額する議案を否決・・・4
- ◆平成29年度決算を審査・・・4
- ◆議案を詳しく審査（委員会）・・・5
- ◆議会で決まりました・・・11
- ◆意見書・陳情・・・12
- ◆議会日誌・編集後記・・・12

市議会だよりの
バックナンバー



子育て

- * 保育施設も多く子育てしやすいまちだと思う。
- * 保育園の紹介本などあったらいいと思う。



安全安心・雇用

- * 登下校の見守りが協力的でいいね。
- * 起業者へのフォローを。
- * 障害者の方も安心して仕事が続けられる様にして欲しい。



子ども食堂とか鳥栖はあるの？

自治会

- * 自治会の世話人を若い人が出来るように。
- * 高齢者の方や一人暮らしの方が集まりやすい場所の確保。

市民との意見交換会

みなさんからの「声」を大切に



山浦インターチェンジが出来ると良かとやけど〜(良いのだけど)

市政

- * 橋本市政3期目は「現実の3期目」何ができたのか。
- * 女性市議がもっと増えますように。



全ての意見や質問については、ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください ← ↓ <https://www.city.tosu.lg.jp/6159.htm>

市民参加・協働

- * まちづくり推進協議会を同じ方ばかりではなく、もっと枠を広げて欲しい。
- * 外国の方との合同イベントを実施しては？見習う点も多いと思います。



教育

- * 宿泊できる青少年研修センターの設置。
- * 鳥栖市の学校教育は独自性があって素晴らしいと思います。



「ふれあい祭」で地域の伝統文化も伝えられるし、地域ぐるみの様々な年代層の交流ができてよかよ〜(いいよ)

おしゃべりカフェ*とす ~議会報告会~

議員としゃべりカフェ
議会報告会
おしゃべりカフェ*とす

鳥栖市議会の最新情報を報告します。その際、お茶を飲みながら、みんなと一緒に鳥栖の未来を語り合いたいです。ぜひご参加ください。

2018年
とす 9月25日(火)
18時30分~20時30分

● 田代まちづくり推進センター (佐賀県鳥栖市山崎1788-11) ● 田代まちづくり推進センター (佐賀県鳥栖市田代大野1938)

TEL 0942853523 FAX 0942853526 E-MAIL shibar@city.tosu.lg.jp

主催/鳥栖市議会 共催/おしゃべりカフェ*とす 協賛/鳥栖市議会事務局

市議会では、ひとりでも多くの市民の方と市議会議員が、「カフェでリラックスした雰囲気の中で、自分たちのまちの未来について語り合う場」を作りたいという思いでこの会を開催しました。

9月25日(火) 18時半から田代と麓のまちづくり推進センターにて、それぞれ約20名の方々が参加され、議員からの議会報告の後、活発に質問や意見交換がなされました。

今回は、その様子の一部を抜粋してご紹介いたします。



↑ 平成30年度予算についてお話をいたしました。



→ 閲覧板や地域の集まりなどで広報しました。

スポーツ

*若い世代がスポーツを通し、大会などにいくバスなどの助成にもっとお金をかけて欲しい。

*野球場をはじめスポーツ施設を増やして欲しい。

環境・移住定住

*自然に恵まれている(山林、川、田畑)。

*移住、定住事業の進展が見られない。

*休耕田が多く、利用を考えて欲しい。

バスが遅れるけん、乗られんちゃん！(バスが遅れるので、乗れません)



たくさんのご意見を頂きました！
総数 230件

福祉

*子どもの貧困に対して対応してほしい。

*認知症の人に対する接し方を自然体で考えてほしい。

にぎわい魅力

*自然環境・歴史などを活用し、道の駅、山の駅を計画。

*朝日山展望台からの風景がいい。



巡回バスなどの利用を考えて欲しいです。これから買い物難民になるかもしれないから～。

交通・都市整備

*国道・高速道が通っていて、恵まれているが昔からの道路については、検討して欲しい。

*新鳥栖駅西口前が空き地のままだ。市はどうするつもりか？

*10年後高齢者がどんどん外出可能な状況(道路、物、交通など)にしてほしい。



鳥栖には自然がいっぱいあるっちゃけん、もっと生がさんと、もったいなか～！(もったいない)

観光・交流

*四阿屋の自然を利用した施設として、市はもっとPRしてほしい。



「あなたは、10年後の鳥栖市をどのようなまちにしたいですか？」

議会報告の後は、未来の鳥栖について、テーブル別に、①住み続けたい、住んでみたい鳥栖(健康・福祉、交通、都市整備など)②元気で活力ある、九州の拠点となる鳥栖(歴史、スポーツ、観光など)③人を育て、心を育む鳥栖(子育て、教育など)といった3つのテーマについて、話し合いました。

「あなたは、10年後の鳥栖市をどのようなまちにしたいですか？」をイメージしてもらいながら、模造紙や付箋を使って、参加者の皆さんから、鳥栖の良いところ、悪いところを書き出してもらい、行政(国・県・市)が出来ること、議会が出来ること、市民が出来ることなど解決策を一緒に考えました。

貴重なご意見や素晴らしい提案などいくつもあり、今後議会(広報広聴委員会等)で整理し、鳥栖市議会として政策提言や政策形成につなげていきます。

ひとりひとりの声を委員会の中で、一つずつ整理



市長の給与を減額する

議案を否決

9月定例会

今定例会には、今年度の補正予算、国の法律の改正に伴う条例改正案のほか、平成29年度諸会計の決算が提案されました。

また、市が「新産業集積エリア整備事業」で知事の農地転用許可を受けずに予定地の農地を取得していた問題を巡り、市は市長の給与を10月から3か月間30%減額する条例案も提出されましたが、賛成7名、反対14名で否決されました。

【給与条例案に対する反対討論】

◇農地法違反状態を認識した平成28年4月、または、市長が報告を受けた平成29年6月まで遡って責任を取るべき、処分が軽すぎる。1年3ヶ月公表しなかった責任が含まれておらず、処分を改めて提案し直すべき。(尼寺省悟議員)

◇副市長を本部長とした新産業集積エリア推進本部が機能していなかったのでは。農地法違反状態であることを隠してきた責任、本市の信用の失墜・ブランド力の低下の責任は、この程度の責任の取り方では、到底納得できない。(久保山博幸議員)

補正予算案は

原案のとおり可決

産業団地造成決算議案は否決

9月補正予算は、補助事業については、国・県支出金の内示などに伴い、地域介護・福祉空間整備補助金、地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備事業）補助金、保育補助者雇上強化事業補助金などが計上されました。

単独事業としては、まちづくり推進センター空調設備改修事業、公民館類似施設整備補助金、子ども子育て支援事業計画の策定に伴うニーズ調査委託料、老朽ため池整備事業、味坂スマートインターチェンジ（仮称）の設置に伴い、市道を付け替える飯田・酒井東線等道路改良事業、原口・基里小線道路改良事業、高速神辺バス停周辺整備事業などが計上されました。

また、7月豪雨により被害が生じた農林土木施設、衛生施設の災害復旧経費なども計上されました。

補正予算案や給与条例案を除く条例案は原案のとおり可決されました。また、平成29年度決算は、産業団地造成特別会計は全会一致で否決されましたが、その他の決算は認定・可決されました。(11ページ参照)

常任委員会での

決算審査概要

総務文教 決算審査



総務部 ふるさと応援寄附金事業は寄附者の要望に添えるような使い方が良いと思う／謝礼品提供事業者の新規登録状況は？

企画政策部 市庁舎整備基本計画策定委託料の策定の内容は？／土地利用構想調査事業に関して、関係機関との協議と成果物を、どのように取り扱うのか／九州国際重粒子線がん治療センターに対する支援と市民に対するメリット

教育委員会事務局 小中学校プールの老朽化への対応／学校給食費は公会計化しては／特別支援学級等生活指導補助員にかかる費用／いじめ事案が発生したときのスクールカウンセラーの立ち位置と役割／社会教育指導員の役割と今後の採用に対する考え方／市立図書館の機能の充実と専任の図書館長配置の考え方

建設経済 決算審査



商工振興課 昨年5月に農業委員会事務局からの指摘を受け、農地法違反状態であることが、今年9月に発覚しました。これを受け、産業団地

造成特別会計決算を全会一致で否決しました。

その他 一般会計決算、上下水道事業会計決算、農業集落排水特別会計決算については認定しております。



新産業集積エリア開発予定地の様子

厚生 決算審査

こども育成課 幼保連携型認定こども園（神辺幼稚園、鳥栖カトリック幼稚園）の整備費の一部（約4億7千万円）補助を認定しました。この事業により、保育できる子供の定員が100名増えました。



神辺幼稚園



鳥栖カトリック幼稚園

お待たせしました！！保育園に行きたい子供達！

また、私立保育所4園（田代保育園、慈光保育園、かなさ保育園、しんとすげんき保育園）に防犯カメラの設置、外構・フェンスの改修などの整備費の補助（約672万円）を認定しました。この事業により、防犯対策が強化されました。

議案を詳しく 審査しました

委員会での審査内容

ふるさと応援寄附金を増額補正 総務文教

当初予算で1億3千万円で算出されていたふるさと応援寄附金の歳入が、申し出の増加により4億円に補正されました。これに伴い、謝礼品等に要する経費約1億8千6百万円の歳出も補正されています。

■財産取得

市消防団が使用する「小型動力ポンプ付積載車」を4台買い替えま



す。積載車は20年使用され、定期的に入れ替えられます。新しいポンプは放水力が向上しており、今回の取得で、市内全てのポンプ付積載車の入れ替えが一段落しました。

7月豪雨災害復旧に
建設経済
補正予算！

7月豪雨により発生した災害復旧工事費として、①農地、農業施設、林道の災害復旧費、3880万円②農林土木施設災害復旧費、7800万円、その他、主なものとして、老朽ため池改修工事費、雨水対策等に伴う道路側溝の工事費、飯田・酒井東線等の測量設計委託料、原口・基里小線の改良工事費、補償、補填及び賠償金等が補正予算として提出され可決致しました。



豪雨直後の市道
河内・大峠線の様子

保育士雇い上げ事業
継続決定！ 厚生

平成30年度の佐賀県及び鳥栖市の当初予算に、昨年度まで行われていた**保育士雇い上げ事業予算が計上されていませんでした**。昨年度、鳥栖市内の2園でこの補助金を活用して雇われていた実績をもとに、**議会からも市にこの事業の必要性を強く訴え、**市からも県に申し入れを行っていただくよう強く求めました。これによって**9月補正予算で継続が決定しました。**

「保育士雇い上げ事業」ってなに？

鳥栖市は佐賀県内で一番子供の人口が増えており、入所を待っている児童は百人を超えています。現在、保育士不足ですべての子供達を入所させることが困難な状況です。保育士は、仕事の内容に対しての処遇等が見合わず、働き手が不足しています。

そこで、国と県と市では、これから保育士の免許取得を目指す方に研修を受けていただき（園内外）、保育士のサポートを行う保育補助者の雇い上げに必要なる費用を助成してきます。



平成30年度 一般会計補正予算

補正額 11億9,988万6千円
予算合計 251億4,695万9千円

【主な歳入】
繰越金 7億3,858万9千円
地方交付税 1億9,473万9千円
国・県支出金 9,511万6千円

主な事業と予算額

- ふるさと「とす」応援寄附金事業・・・1億8,649万2千円
- 土木施設災害復旧経費・・・7,800万円
- 地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備事業）補助金・・・3,920万円
- 農林水産施設災害復旧経費・・・3,880万円
- 原口・基里小線道路改良事業・・・3,720万円
- まちづくり推進センター空調設備改修事業・・・3,140万円
- 道路側溝等整備事業・・・3,000万円
- 道路舗装事業・・・900万円
- 保育補助者雇上強化事業補助金・・・886万円
- 地域介護・福祉空間整備補助金・・・770万円
- 衛生施設災害復旧経費・・・459万円
- 老朽ため池整備事業・・・400万円
- 飯田・酒井東線等道路改良事業・・・375万4千円
- 高速神辺バス停周辺整備事業・・・270万9千円
- 子ども・子育て支援事業計画調査委託料・・・180万円
- 自主防災組織補助金・・・79万円
- 公民館類似施設整備補助金・・・29万円

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



インターネット録画中継はこちら→



今定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



学校環境整備

について

尼寺省悟(日本共産党議員団)

問 熱中症の発症状況は。

答 熱中症の疑いで、授業中、昼休み中に体調をくずした児童・生徒は小学生17名、中学生6名。部活動中に29名。このうち夏休み短縮中では小学生2名、中学生1名。

問 猛暑は今年だけとは限らない。夏休み短縮は見直しすべきでは。

答 土曜授業の可能性、夏休み短縮中での臨時休業も含め、授業時数の確保のために、総合的に検討

したい。

問 全ての特別教室にエアコンを整備する費用、県内のエアコン整備、夏休み短縮の状況は。来年からエアコンの整備をすべきでは。

答 市の負担額は約3億円。県内では14自治体でエアコンを整備。神崎市、吉野ヶ里町、上峰町、大町町は、特別教室を含む全ての教室にエアコンを整備している。夏休みの短縮をしているのは自治体。このほかの質問◆大型事業など市がかかえる諸問題



災害対策・ 発達障がい支援

飛松妙子(公明党)

問 ①河川沿いの道路など市内の多くで冠水被害がある。今後予測される冠水箇所への事前対策をどのように取り組むのか？避難所の妥当性についてはどうか？②通学路のブロック塀の緊急点検の結果は？③ブロック塀の撤去・改修にかかる費用の助成を行うてはどうか？

答 ①河川は国や県が管理するものが多いため、これまで以上に関係機関と連携を図り対応していく。

問 現在、公立・私立の保育所では、運営経費や保育の質にどのような違いがあるのか？

問 政府が、幼児教育・保育を無償化する方針を示している。これが実現したら、鳥栖市にどのような影響が考えられるのか。

答 利用者の経済的負担の軽減、保育需要の増加、自治体の業務量の激増や新たな財政負担などが想定されます。



公立保育園は 民営化するのか？

下田寛(新風クラブ)

答 運営経費は、公立は、保育料と市の財源のみであることに對して、私立は、保育料と国・県・市の負担となります。また、保育の質に差はないと考えております。

問 今後、市の財政負担は増え続けるかと予測されるが、鳥栖市としては将来、公立保育所を民営化する方針なのか？

答 公立・私立のあるべき姿・役割について慎重に見極めるべきと考えています。

このほかの質問◆電子図書導入について／職員環境について

問 発達障害児者及び家族等支援事業について、本市の見解は？支援を必要とする方々へのニーズを見ながら、どのような支援を県や市で行う必要があるか確認していきたい。

このほかの質問◆サガハイマツト



**新産業集積エリア
・防災無線**
小石弘和(自民党鳥和会)

問 新産業集積エリア整備事業の大幅な遅れの原因は市長にあるのではないかと。先頭に立ち早急に解決すべきだと思いが如何か。血の通った答弁を聞きたい。

答 関係者の助言も頂き、努力してきたが、事業が進まないことを心からお詫びする。市議会をはじめ様々な関係者とともに、より積極的に取り組むべきだったと反省している。今後自ら先頭に立ち、市議

会や関係者の協力も頂き、一丸となり努力していきたい。

問 河内町への防災無線・非常食の常備について、先般の豪雨の際、河内町自主避難所には非常食の備蓄もなく、また、防災無線電波も届かないと聞く。早急な対応が必要である。

答 非常食備蓄に関し、早急に河内町と協議を進めたい。また、広報手段に関し、コミュニティ放送を活用した防災ラジオの設置に向け、実例を参考に調査・研究を進める。



**①豪雨対策
②新グラウンド**
樋口伸一郎(自民党鳥和会)

問 ①6月、7月の豪雨被害を教訓に、市民、小中学校、幼稚園、保育園、それぞれが早めの避難、休校、休園など、適切な判断が行えるよう、まずは市が、その基準となる避難準備情報、勧告、指示を、できるだけ早い段階で発令するべきではないでしょうか。また、旭地区区長会からご提出いただいている、冠水浸水を記した地図を参考に、市内の冠水浸水エリアのハザードマップを作成す

ることをご提案しますが。

答 まずは一番の基準となる、避難準備、勧告、指示などの情報を、できるだけ早い段階で発令できるよう、しっかりと検討してまいります。また、町区のご意見も十分に伺いながら、マップの作成にも努めてまいります。

問 ②現在減少しているグラウンドの状況を見れば、新規グラウンド建設に向けた具体的な検討や計画が、今こそ、必要な時期にきているのではないのでしょうか。

答 用地や財源の確保等、具体的な検討を進めてまいります。



**え！？20↓4
品目に減るの？**
牧瀬昭子(社民党・小さな声の会)

問 小学校の給食センターでアレルギー対応品目が20品目から4品目に減らされる予定との事ですが、なぜですか？

答 これまで対象となる児童の増えに伴って、除去食・代替食の対象品目を毎年見直ししており、保護者の中に混乱を招いている状況となっていました。学校給食センターにおいても対応する品目が多く、

児童への対応が非常に複雑になっており、人的なミスの発生が危惧されていたところですが、更に献立の制限を緩和することが出来るため、より多くの児童が他の児童と同じような給食を食べることが出来ると考えております。これらのことから食物アレルギー対応の見直しが必要であると考えています。これらのことから、再度説明会を開催し、平成31年度から新しい形での対応を実施したいと考えています。



6月25日アレルギー対応説明



**いじめ早期発見に
SNSを**
竹下繁己(自民党鳥和会)

問 全国的にSNSを利用した相談窓口の設置が進んでいるが、九州ではあまり取り組まれていない。鳥栖市が率先して取り組むべきだと思いが、見解を伺いたい。

答 コミュニケーションの手段として急速に広まっているソーシャルネットワークサービスを利用することで、相談したい気持ちの掘り起こしにつながり、電話だとうまく言葉として表現できない児童生徒

の気持ちを受け止めることができるなど、一つのセイフティネットの役割を果たすものと考えます。すべての児童生徒のセイフティネットとなる相談体制を整備することが必要であり、実施効果等につきましても研究を行い、SNSを利用した相談体制も含めまして、児童生徒の相談体制のあり方につきましましては、引き続き、迅速かつ容易に相談できる体制を検討し、いじめ等の早期解決に努めてまいりたいと考えております。



伊藤克也(新風クラブ) 「学校プール」

問 公共施設マネジメントの観点から、老朽化が進む学校プールの今後のあり方について、どのように考えておられるのかお聞きしたい。

答 今後、学校プールの改修・改善が必要となる場合、公共施設マネジメント、また教育観点から十分議論を行い、学校プールの今後のあり方について検討していく必要があると考えております。



松隈清之(自民党鳥和会) 学校給食費の公会計化について

問 平成28年6月の一般質問で学校給食費の未納対策と公会計化について尋ねたが当時の課題をどのように整理し、公会計化についての研究はどの程度進んでいるのか。

答 また、文科省は本年度学校給食費の公会計導入に向けたガイドラインを策定する予定であるが本市の考え方について尋ねる。

答 管理職が本来の勤務時間外に電話や家庭訪問による催促を行って

問 今後かかってくるコスト面や児童・生徒の水泳技術の向上、安全確保を図るうえで民間プールの活用や、屋内プールの用途を広げて、学校プールとして活用することを検討すべきだと考えるがどうか？

答 温プールの活用を含め、民間プールの活用につきましては、児童生徒や保護者、地域のお考え等を聞きながら、様々な議論を重ねて総合的に判断し、検討してまいりたいと考えております。

いるのが8校中3校です。また当時ご指摘いただいた徴収事務研修と回収マニュアルの策定は出来ていません。国から校納金徴収に係る事務については学校ですべき事務ではないとの考え方が示されているので公会計化も一つの選択肢と考えている。新たな費用やシステムの検討等が必要であり引き続き庁内において関係部署との協議を進めていきたい。

このほかの質問 ◆都市計画マスタープランに係る「まちづくり座談会」について



江副康成(自民党鳥和会) 新鳥栖駅の拠点性と道路事情

問 都市計画マスタープランでは、「新鳥栖駅の拠点性」に関してどのように整理されているか。

答 新鳥栖駅周辺は、鉄道の新幹線と在来線が交わる広域的な交流拠点であり、都市計画上の土地利用の観点から、その拠点性を活かす都市的土地利用への転換を図ることが必要であると考えております。

問 「新鳥栖駅周辺まちづくり検討懇話会」から平成19年度に提

案された土地利用構想には、国道34号から佐賀川久保線まで一本の道で結ぶ南北道路の構想が示されている。これが事業化されないことが、都市的土地利用が進まない原因と考えるが。

答 新鳥栖駅東側の土地利用構想では、「南北を結ぶ道路」及び「駅に近接した水と緑に包まれた住宅地」として位置づけられておりますが、まずは、西側の区画整理事業を優先したことから、「南北を結ぶ」道路計画については進んでいないのが現状でございます。



成富牧男(日本共産党議員団) 農地法違反 市長の責任は

問 鳥栖市は新産業集積エリア整備事業における農地取得において信じがたい農地法違反を犯した。市長はこの事実を知ったから今日まで、公表を避けてきた。いまま違反状態のままである。

部下がやったといっても管理監督の最高責任者としての責任はまぬかれない。市民に向かってきっぱりと謝罪すべきではないか。

答 この度の農地法に係る不適正な事務処理については鳥栖市に対する信頼を損なうものであり、管理監督の責任者として私に責任がある。このことについては重く受け止めている。

改めて、市民の皆様及び関係者の皆様に大変なご迷惑をかけたことに対し、深くお詫言申し上げます。

このほかの質問 ◆加藤田町入り口交差点の信号機設置について/子どもインフルエンザ予防接種費用の助成について



防災・減災と 防犯は大丈夫か？ 池田利幸（公明党）

問 冠水時に道路（通学路）と水路の見分けがつかなくなる危険箇所はどう対応していくのか？

答 通学路合同点検で水書の危険箇所をあげていただき点検・協議していく。また、安全マップ等新たに掲載し保護者や地域の方々と情報共有に努めたい。危険箇所の対応としては冠水時にも視認可能な転落防止柵やポストコーン等による道路境界の明示を行うなど、地域の実

情に応じた対応策を推進していく。犯罪の抑止力として防犯カメラの設置はできないのか？また、町区が設置する場合、補助できないのか？

答 市民への防犯情報の広報・周知、防犯ボランティア団体への補助、防犯灯の設置などの防犯対策を講じていくことが先決である。防犯カメラ設置の補助については現在のところ予定していない。国・県及び民間の防犯カメラに対する補助メニューについて調査及び関係機関と協議を行ってまいりたい。



新グラウンドの 建設を！ 内川隆則社長党小さな声の会

問 この問題につきましても他の議員からも何度となく、そして私も今年3月議会でも質問をしてみました。この事については、日頃から不足しているグラウンドが野球やサッカーが思うように出来なく大変苦慮している状況は誰でも感じています。今回、市庁舎建設のため、また更に市グラウンドが無くなりそうです。また、大型事業計画が控えているなかで、新グラウンド建設に踏み切

れないと言われていましたが、大型事業が進まないなら、当然やれることからやるべきではないだろうか。今こそ新グラウンド建設に一番良い機会ではないか。

答 多くの様々な意見を頂いていきますので、新グラウンド建設につきましても、課題等の整理を行い具体的な検討を進めていかなければならないと考えております。**このほかの質問** ◆職員の方の労働条件について/災害対策基金の設置/墓地の管理



市グラウンド土壌調査中



九州の次世代 成長エンジンに 西依義規（新風クラブ）

問 都市計画マスタープランの将来都市像（案）を「都市と自然が調和し、人が輝く快適なまち」としてあるが、鳥栖市に感じる活気や躍動感を前面に出した将来像は検討しなかったのか、全国どこにもある将来像になっていないか。土地利用構想では「基里南部地区」の開発コンセプトは「九州の次世代成長エンジン」となっているが、この将来像では、開発する理由や根拠、説得

力がないのでは。本市の優れた立地特性を更に高めていくとともに、周辺に広がる豊かな自然環境とも調和した、快適で魅力的な、住みやすいまちを目指すべく、将来像（案）を設定したところ



認知症に係る 保険加入について 久保山日出男（自民党鳥和会）

問 久留米市が、認知症対策として、個人賠償責任保険の保険料を市が負担するとの新聞報道があった。鉄道のまち鳥栖市での実施は考えていないのか。

答 賠償責任保険は、基本的に個人が任意で加入していたくものと考えている。**問** 鳥栖市で行わないのであれば、久留米市のように、市が関与することで、安価な保険料となる

事業の工夫や検討をすべきでは。久留米市以外の事例と、鳥栖市が行っている保険等事業の事例について尋ねる。**答** 神奈川県大和市、海老名市等で行っている。鳥栖市が、被保険者となる保険事業の事例は、「全国市長会学校災害賠償補償保険」や「全国市長会市民総合賠償補償保険」がある。この他に、市が窓口となっている保険事業等の事例として、任意加入の交通災害共済事業があり、国内で交通事故により災害を受けた加入者又は遺族に対し、見舞金を支給するものがある。



「虹の橋」を残せないのか？

久保山博幸(自民党鳥和会)

問 橋上駅舎完成後、「虹の橋」は解体されると聞く。築造されて22年、未だその寿命の3分の1程度しか役目を果たしていない虹の橋が早々に処分される今の駅舎整備の進め方は、先人の労苦、血税を「すたらかす」事に思え残念である。建築の世界では、古いモノに新しい機能を持たせ再生利用するリノベーションという手法がある。今、進めている本市の駅舎整備計画によれば駅

利用者がゆつくりとくつろげる様な「場所」の確保も期待できない。であれば、虹の橋の主な用途を自由通路から眺望デッキ等へと発想転換しての活用策もあるのではないかと？そのような事も含め活用検討はなされたのか？また、解体理由は？

答 長期間にわたって必要となる維持管理費や駅利用者の安全面、設置効果を考慮すると撤去する方が効率的である。



都市計画道路と駅周辺整備事業

中川原豊志(自民党鳥和会)

問 鳥栖駅周辺整備基本構想において、鉄道を交差する都市計画道路3路線(久留米甘木線、飯田蔵上線、酒井西宿町線)について、都市計画道路見直し検討懇話会が、開催されていますが、この検討状況と今後の進め方及びこの検討方針を受けて、鳥栖駅周辺整備事業に影響があると思うが、考え方についてを伺う。

答 8月に開催された、都市計画道路見直し検討懇話会において、

必要性や実現性の観点から総合的に判断し、久留米甘木線、飯田蔵上線の2路線については、実現性は低いものの、必要性が高いことで変更候補とし、酒井西宿町線については、利用交通量の増加が見込めず、施工が困難であることから、廃止候補と致しました。今後、見直し方針に対する意見の集約と評価を行い来年2月頃見直し計画の素案を提示したい。また、鳥栖駅周辺整備事業に対する影響としては、廃止候補となった路線は、交通利用上からも増加が見込めず、現時点では影響ないものと考えている。



入札・契約制度の見直しについて

藤田昌隆(新風クラブ)

問 本年8月、市のホームページに入札・契約制度の見直しをする旨が公表されました。何故現制度ではダメなのか、また県に準じた入札方法を取り入れたいのか、さらに大型プロジェクト事業に対する考え方、市内業者育成についての考え方を伺う。

答 公共事業の執行に当たり、品質の確保、「コスト削減」に努めることが必要であり、大型事業が控える中、国や他の地方公共団体の制度も参考にし、現行制度の検証と共に、契約事務、組織のあり方や人員体制の強化を図ってまいります。市内企業の育成につきましては、これまで市内企業に配慮した業者選定に心がけてきており、今後市内企業の育成に努めてまいります。



市政運営について

中村直人(社民党小さな声の会)

問 3期12年の任期を終えるわけですが、自ら顧みられてどう感じられているか？又、市庁舎建設・鳥栖駅橋上化および周辺整備・次期ゴミ処理施設建設等、本市にとって大型事業を計画されましたが、これらの事業を自らの手で完成させる考えはないか。つまり4期目の挑戦を考えているか？

答 3期11年6ヶ月の取り組み

と、それに対する自己評価は、市民や議会の皆様を初め関係者の皆様のご理解、ご協力により実現出来たもの、未だ実現に至っていないものがあります。これからの鳥栖の発展を支える基盤整備については、まだ着手したものが少なく、スピード感をもって取り組んでいく必要があります。この状況を踏まえ来年2月予定の市長選挙に再挑戦をしたいと考えております。
このほかの質問 ◆市民体育館・学校施設の暑さ対策について／体育施設の整備について／職員定数の適正化について

議会で決まりました(9月定例会)

◆全会一致(全員賛成)で可決、選出されたもの

件名	
市長提出	平成30年度 補正予算 一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療)
	平成29年度 決算 特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、農業集落排水)、水道事業会計、下水道事業会計
	水道事業剰余金の処分、下水道事業剰余金の処分
	専決処分事項の承認[災害復旧費の補正に伴い、専決処分したもの]
	市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正 [公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員の選挙における選挙運動用ビラの作成費用を公費負担するもの]
	市税条例等の一部改正[地方税法等の一部改正に伴うもの]
	市道路線の廃止及び認定 [廃止1路線、認定9路線]
議員提出	財産(小型動力ポンプ付積載車)の取得 [鳥栖市消防団において使用する小型動力ポンプ付積載車(4台)の取得]
	人権擁護委員候補者の推薦 [久保美根子氏(弥生が丘)]
議会人事	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
	下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書
議会人事	鳥栖・三養基地区消防事務組合議会議員の選挙 [古賀和仁議員]
	佐賀県競馬組合議会議員の選挙 [小石弘和議員]

◆全会一致(全員反対)で否決されたもの

件名	
市長提出	平成29年度産業団地造成特別会計決算

◆賛否が分かれたもの

議員名	件名	牧	成	伊	西	池	竹	樋	久	江	中	内	中	尼	藤	下	飛	古	久	松	小	森	議決結果
		瀬	富	藤	依	田	下	口	保	副	川	川	村	寺	田	田	松	賀	山	隈	石	山	
市長提出	平成29年度 一般会計決算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	特別職職員の諸給与条例の一部改正 [市長の給与を減額支給するもの]	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	否決
議員提出	佐賀空港への自衛隊オスプレイの受け入れ容認に反対する意見書	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	欠	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	否決
	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	欠	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
	県道の整備促進に関する決議	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ※通常、議長(齊藤正治)は表決には参加しませんが、「地方財政の充実・強化を求める意見書」は、可否同数のため、議長裁決により、否決となりました。

議会日誌

7月

- 4日～5日 全国市議会議長会基地協議会
理事会（東京都）
- 6日 広報広聴委員会
- 19日 建設経済常任委員会
- 31日 広報広聴委員会

8月

- 9日 佐賀県市議会議長会議員研修会（鳥栖市）
- 27日 会派代表者会
議会運営委員会
- 28日 全員協議会

9月

- 3日～10月9日 9月定例会
- 3日 広報広聴委員会
- 21日 会派代表者会
広報広聴委員会
- 25日 議会報告会（おしゃべりカフェ*とす）
- 28日 全員協議会
広報広聴委員会

イラスト紹介



ご応募ありがとうございました！

**次回定例会は
12月3日からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。
ご意見はこちらまで。**

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp

意見書

- 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
提出：自民、社民、公明、基
- 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
提出：自民、公明、基
- 下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書
提出：建設経済常任委員会

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました

陳情

- 次期ごみ処理施設の建設予定地に関して
旭地区区長会 代表 中村 圭一 ほか13人
- 「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望
公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会
会長 前田 龍一
- 九州新幹線西九州ルート整備について
長崎県議会議長 溝口 芙美雄
長崎県議会九州新幹線
西九州ルート整備特別委員会
委員長 八江 利春
- 下水道施設の改築への国費支援の継続に関する要望書
佐賀県下水道協会
会長 佐賀市長 秀島 敏行
- 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書
移植ツーリズムを考える会
九州事務局 担当 寺崎 太
- 平成31年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い
公益社団法人
日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇

編集後記

今回の9月定例会では、まず補正予算の審議、その後の平成29年度決算審査では、新産業集積エリア整備事業における農地法違反や、それに伴う市長の給与カットの追加条例案の提出など、はじめて体験する濃い議会でした。また、7月から延期となっていた議会報告会では、皆さんの生の声をいただくことができました。今回、開催時の写真や内容も載っていますので、一読ください。（池田利幸）